

2021年度

枚方市立第四中学校

1年2学期シラバス集

進路指導部

1. はじめに

大阪府では、各評価が目標に準拠した評価(絶対評価)で行われています。これに伴い、評価の規準についてもより明確になっています。

2. 通知票及び調査書の評価基準について

各科目(国語・社会・数学・理科・音楽・保健体育・美術・技術家庭・外国語の9教科)について、3観点があります。

各教科それぞれ3観点について、A,B,Cの評価をつけ、その観点別評価【表1】から、教科として5段階評価(5、4、3、2、1)の総合評定【表2】をつけます。

それぞれの評価基準については、次の表に記します。なお、この評価は、枚方市内統一の評価基準となります。

【表1】

観点別評価		目標到達度
A	十分満足できる	75%以上
B	おおむね満足できる	40%以上
C	努力を要する	40%未満

※表1の観点別評価を、A…3点、B…2点、C…1点に換算し、下の表2に当てはめます。

【表2】

総合評定		観点評価合計	目標到達度
5	十分満足できるもののうち、特に程度が高い	9点	85%以上
4	十分満足できる	8点以上	75%以上
3	おおむね満足できる	5点以上	40%以上
2	努力を要する	3点以上	
1	一層努力を要する	3点	20%未満

(「観点評価合計」と「目標到達度」の両方を満たすことが必要になります。)

※表1と表2を総合的に判定しますので、例えば観点別評価「AAA」の生徒であっても、総合評定「5」がつく場合と「4」がつく場合があります。

3. 調査書対象学年について

平成30年度入試以降は入学時よりの成績が対象となっています。

入試	対象学年	比率
平成30年度入試以降 (現1~3年生)	第1学年~第3学年	(第1学年:第2学年:第3学年 =1:1:3)

「絶対評価」とは、学習指導要領に示す目標をどの程度達成できたか、達成状況を見るための評価です。個人の努力がそのまま反映されますので、本校では、各教科シラバスを作成し、授業や提出物、テストなどの生徒の日常の頑張りを評価していきます。

毎回の授業を大切に、毎日の学習にしっかり取り組んで、自分の力をどんどん伸ばして欲しいと思います。

※シラバスは、現時点での予定を示したものです。従って、授業の進捗等により、多少変更する場合があります。

国語【1年 2 学期】

教材の種類・単元名	到達目標
随筆:字のない葉書	<ul style="list-style-type: none"> ・ものの見方や考え方を広げる。 ・目的に応じて読み取る。
説明文:玄関扉	『玄関扉』 <ul style="list-style-type: none"> ・事実と意見と理由を読み分ける。 ・文化の違いについて自分の考えをもつ。
古典:竹取物語	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いや古文独特のリズムに注意しながら音読し、内容をとらえる。 ・現代とのつながりを考えて読み、物語のおもしろさについて、自分の意見を持つ。
漢文:故事成語一矛盾	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読の仕方にふれ、漢文調のリズムに注意して音読する。 ・現代にも受け継がれている故事成語の由来について理解を深める。
物語文:少年の日の思い出	<ul style="list-style-type: none"> ・場面展開や人物描写に着目して、登場人物の心情の変化を捉える。 ・作品の構成の工夫を読み取り、その効果について自分の考えを持つ。
情報:複数の情報を関連づけて考えをまとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・意見と根拠などの関連に注意し、互いの発言を結びつけながら話し合い、考えをまとめる。 ・原因と結果、意見と根拠などの関係に注意しながら、文章などを読んで理解したことをもとに自分の考えをもつ。
文法:名詞・動詞・形容詞・形容動詞 すらすら基本文法	<ul style="list-style-type: none"> ・名詞、動詞、形容詞、形容動詞について、それぞれについて正しく理解する。
書写:硬筆・毛筆	<ul style="list-style-type: none"> ・基本点画を理解しながら、学習課題を正しく把握する。 ・筆使いや字形を正しく把握しようとしている。

観点別学習状況の評価対象と内容		
① 知識・技能	30%	定期考査・小テスト・書写など
② 思考・判断・表現	40%	定期考査・小テスト・発表・作文・作品など
③ 主体的に学習に取り組む態度	30%	提出物・ノート・授業態度など

社会【1年2学期】

分野	単元	到達目標
地理	世界各地の人々の生活と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解する。 ・世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し表現する。
	世界の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解する。 ・アジア州、ヨーロッパ州、アフリカ州、北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結びつきなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し表現する。
歴史	古代国家の歩みと東アジア世界	<ul style="list-style-type: none"> ・律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解する。 ・律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、そこで見られる課題を主体的に追究する。
	中世の日本	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉幕府の成立を基に、武士が台頭して主従の結びつきや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解する。 ・東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、東アジアの動きや民衆の成長と新たな文化の形成について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し表現する。

観点別学習状況の評価対象と内容		
①知識・技能	30%	定期テスト・提出物
②思考・判断・表現	40%	定期テスト・提出物
③主体的に学習に取り組む態度	30%	定期テスト・提出物・授業に取り組む姿勢

数学【1年2学期】

単元	到達目標	
2章 文字の式	<ul style="list-style-type: none"> ・数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりする。 	
3章 方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・数量の関係を等式・不等式に表すことができる。 ・方程式とその解の意味を理解し、一元一次方程式を解くことができる。 ・方程式や比例式を問題解決に利用することができる。 	
4章 比例と反比例	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事象から比例・反比例の関係を見出し、式に表したり、式から性質を理解したりすることができる。 ・座標平面を使って比例・反比例の関係をグラフに表すことができる。 ・表・式・グラフから比例・反比例の性質を理解し、活用することができる。 	
5章 平面図形	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の移動について理解し、作図ができる。 ・定規とコンパスだけを使った正しい作図の方法を理解し、基本の作図ができる。 ・基本的な作図を利用して、いろいろな作図ができる。 ・円やおうぎ形の性質を理解し、おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。 	
観点別学習状況の評価対象と内容		
知識・技能	(40%)	定期テスト・小テスト・レポート等
思考・判断・表現等	(30%)	定期テスト・小テスト・レポート等
主体的に学習に取り組む態度	(30%)	提出物・レポート・授業態度等

理科【1年2学期】

分野	単元	到達目標
	光・音・力による現象 1章 光による現象 2章 音による現象 3章 力による現象	<ul style="list-style-type: none"> ・光の反射や屈折の実験をから、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性を理解する。 ・凸レンズのはたらきについての実験を行い、物体の位置と像の位置および像の大きさや向きを見だし、光の道筋が作図できる。 ・音は物が振動することによって生じること気づく。 音についての実験を行い、音の大小、高低のしくみを知り、音の性質を理解する。 ・力の種類、はたらき、大きさの測り方を理解する。 ・矢印を使って力を表す作図ができる。 ・物体に働く2力について力が釣り合うときの条件を見いだして理解することができる。
1分野	身のまわりの物質 1章 いろいろな物質とその性質 2章 いろいろな気体とその性質 3章 水溶液の性質 4章 物質のすがたとその変化	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの物質の固有の性質と共通の性質を理解する。 ・身近な物質の性質を調べる実験操作(ガスバーナーや電子天秤)が身につく。 ・金属の性質について理解する。 ・密度を調べることで物質が区別できる。また、密度を計算で求めることができる。 ・気体を発生させる実験を行い、気体の種類による特性を見いだすとともに、気体を発生させる方法や捕集法などの技能が身につく。 ・粒子の考え方で、水溶液の性質、質量パーセント濃度、状態変化について理解する。状態変化に関しては質量や体積変化についても理解する。 ・水溶液から溶質を取り出す方法を理解する。 ・状態変化により、物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだす。 ・物質は融点や沸点を境に状態が変化することや沸点の違いによって物質の分離ができることを見いだす。 ・蒸留により混合物からより純粋な物質が分離できることを理解する。
観点別学習状況の評価対象と内容		
①知識・技能	35%	定期テスト・小テスト・ワークシート・提出物
②思考・判断・表現	35%	定期テスト・提出物・ワークシート
③主体的に学習に取り組む態度	30%	定期テスト・レポート課題・ワークシート・授業への取り組み

英語【1年 2 学期】

単元	到達目標
Lesson 3 Our New Friend	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の中学校を紹介したり、国についてたずねたりして、NETの先生と仲良くなることができる。 ・自分の町の施設などを紹介したり、町を案内したりして、NETの先生と仲良くなることができる。 ・自分の好きな有名人やキャラクターについて、写真や絵を見せながら説明することができる。
Take Action!	<ul style="list-style-type: none"> ・商品の説明を聞いてメモにまとめることができる。 ・相手の話にあいづちを打ったり、おどろいたり同意したりすることができる。
Reading for information	<ul style="list-style-type: none"> ・文房具のチラシを読んで、誰に何をプレゼントすればよいかを考えることができる。
Project1	<ul style="list-style-type: none"> ・理想のロボットを考えて、4, 5文程度の英文で発表することができる。
For Self-study 2	<ul style="list-style-type: none"> ・和英辞書を使って、英文を作ることができる。
Lesson 4 My Family, My Hometown	<ul style="list-style-type: none"> ・3人称単数現在形の肯定文、疑問文、否定文を理解することができる。 ・イギリスの名所やお祭りの英文を読んで、理解することができる。 ・身の回りの人物について即興で英語で話すことができる。
Take Action!	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手が伝えたいことを聞き取ることができる。 ・会話を終えたり、あいづちを打つことができる。
Lesson 5 School Life in the U.S.A.	<ul style="list-style-type: none"> ・現在進行形の肯定文、疑問文、否定文を理解することができる。 ・アメリカの中学校生活について知り、日本との違いや共通点に気づくことができる。 ・日本の中学校生活を紹介する英文を書くことができる。
Take Action!	<ul style="list-style-type: none"> ・話の全体的な内容を聞き取ることができる。 ・相手に提案したり、自分の好みを伝えることができる。
Lesson 6 Discover Japan	<ul style="list-style-type: none"> ・過去形の肯定文、疑問文、否定文を理解することができる。 ・留学生の日本各地での体験文を読み、内容を読み取ることができる。 ・今年一番思い出に残ったできごとを、絵日記で表現できる。

観点別学習状況の評価対象と内容

知識・技能(30%)・・・定期テスト、小テストなど

思考・判断・表現(30%)・・・定期テスト、暗唱テスト、パフォーマンステストなど

主体的に学習に取り組む態度(40%)・・・授業態度、提出物など

音楽【1年2学期】

分野	単元	到達目標
歌唱	情景を思い浮かべながら、思いをこめて歌おう。	・旋律の動きや強弱の変化がどのように曲想と関わっているかを感じ取り、表現を工夫して歌うことができる。
	曲想を生かして合唱しよう。	・短調の旋律が生み出す雰囲気を感じ取りながら、表現を工夫して歌うことができる。
器楽	LESSON2〔両手による運指〕	・両手の運指に気を付けながら、吹き方を工夫することができる。
	LESSON3〔サミング〕	・両手の運指やサミングに気を付けながら、吹き方を工夫することができる。
鑑賞	曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう。	・詩の内容や音楽の特徴に気を付けて場面の様子を想像しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。 ・登場人物の旋律の雰囲気や歌い方の違いに注目しながら聴くことができる。
	人々の暮らしの中から生まれた日本の民謡を聴こう	・声の音色、節回しやリズムの特徴などに気を付けながら日本の民謡のよさや美しさを味わって聴くことができる。

観点別学習状況の評価対象と内容	
知識・技能(35%)	小テスト・実技テスト
思考・判断・表現(35%)	実技テスト・ワークシート
主体的に取り組む態度(30%)	ワークシート・忘れ物・授業への取り組み

体育【1年 2 学期】

	単元	到達目標	
保健体育男子	・水泳	・水泳の知識を深める。	
	・陸上競技(ハードル・走り高跳び)	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち技術の名称や行い方などを理解するとともに、基本的な動きや効率の良い動きを身に着けること。	
	・バスケットボール	・基本的技能(個人技能)を身につけ、楽しくバスケットボールができるようにする。	
	・持久走	・心肺機能を高め、筋持久力や全身持久力を身につける。自分自身のめあてを見つけその記録に挑戦する楽しさや喜びを味わうことができるようにする。	
	・保健(心身の機能の発達と心の健康) ・体育理論	・心身の機能の発達と心の健康について理解できるようにする。 ・運動やスポーツの多様性を理解できるようにする。	
通知票の観点別学習状況の評価対象と内容	・知識・技能…技能テスト、定期テスト、ワーク、レポート	50%	
	・思考・判断・表現…授業の振り返り、技能テスト、定期テスト、授業の様子、レポート	25%	
	・主体的に学習に取り組む態度…出席点、授業態度	25%	
			合計100%

	単元	到達目標	
保健体育女子	・水泳	・水泳の知識を深める。	
	・陸上競技(ハードル・走り高跳び)	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち技術の名称や行い方などを理解するとともに、基本的な動きや効率の良い動きを身に着ける。	
	・剣道	・武道の礼儀や竹刀の使用方法を知り、基本的技能を身につける。	
	・持久走	・心肺機能を高め、筋持久力や全身持久力を身につける。自分自身のめあてを見つけその記録に挑戦する楽しさや喜びを味わうことができるようにする。	
	・保健(心身の機能の発達と心の健康) ・体育理論	・心身の機能の発達と心の健康について理解できるようにする。 ・運動やスポーツの多様性を理解できるようにする。	
通知票の観点別学習状況の評価対象と内容	・知識・技能…技能テスト、定期テスト、ワーク、レポート	50%	
	・思考・判断・表現…授業の振り返り、技能テスト、定期テスト、授業の様子、レポート	25%	
	・主体的に学習に取り組む態度…出席点、授業態度	25%	
			合計100%

美術【1年2学期】

分野	単元	到達目標
鑑賞	鑑賞との出会い (現代アート)	身近にある美術を感じることができる
		自分らしい造形的なものの見方・感じ方を深めることができる
工芸	暮らしに息づく木の工芸 (寄せ木)	木の質感や特性、形や色彩に着目し、ぬくもりなどをとらえ、加工方法を工夫して見通しを持って表すことができる。
		木の特性や美しさ、使う場面や使う人の気持ちをもとに、使いやすさなどの工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。
		木の良さや使いやすさなどを生かして作ることに興味を持ち、意欲的に取り組むことができる。
絵画	なぜか気になる情景 (アートグラス)	形や色彩、全体の様子などに着目し、そこから生じるイメージをとらえ、道具の使い方を工夫したりすることができる。
		身近な場所のイメージをもとに、形や色彩、構図などの工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりすることができる。
		気になる場所を見つけ、その特徴をとらえて表すことに興味を持ち、意欲的に取り組むことができる。
観点別学習状況の評価対象と内容		
知識・技能 (30%)		作品
思考力・判断力・表現力 (40%)		計画表、鑑賞シート、自己評価表
主体的に取り組む態度 (30%)		授業態度(提出物)、Fシート

技術家庭【1年 2 学期】

分野	単元	到達目標
(技術) 材料と加工の技術	材料に適した加工方法	・目的とする加工に応じた工具や機器について理解する。
	丈夫な製品を作るために	・構造と部材を丈夫にする方法について理解し、まとめることができる。
	設計・製作	製作に必要な図を理解し表せる。 工具や機器を安全に使用することができる。 部品加工、組み立て及び仕上げ作業が正確にできる。
(家庭) 衣生活と自立	日常着の手入れ	衣服の状態に合わせた、適切な手入れができる。 衣服の補修ができる。
	生活を豊かにするために	持続可能な衣生活を目指して、自分ができることを考える。
(家庭) 私たちの住生活	住まいの役割と安全な住まい方	日本の住まいの特徴を知る。 防災を意識した工夫を考え、家庭で実践することができる。 持続可能な住生活を目指して、自分ができることを考える。 自分の理想の住まいを考え、周りに伝えることができる。
点別学習状況の評価対象と内容 以下の①②③を均等の割合で評価します		
①知識・技能		提出物・テスト・実習製作品
②思考・判断・表現		テスト・提出物・実習製作品
③主体的に学習に取り組む態度		提出物・授業態度